

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～



令和4年度 第25号
令和5年3月20日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

冷たい雨の翌日、柔らかい日差しに空気は緩む。日に日に春が大きくなっていく。卒業式での別れを終えて、新生活の準備も始まる頃か。

街並みが、淡いピンクに縁取りされる春がもうすぐそこまで来ている。

ひばり 雲雀 ～大空からのエール～

一年中、日本にいる鳥ですが、春になると、明るい声で、賑やかにさえずってくれます。

雲雀という漢字を書くのは、雲間から鳴き声が聞こえるところから、告天子こくてんしという別名もあります。

昔は、「日晴ひばり」と書き、晴れた日に天高くのぼって鳴くから「ひばり」というのだといわれてきましたが、最近は、鳴き声からではないかとされています。「ピーチク、パーチク」ではなく、「ピバリ、ピバリ」と聞いていたのですね。

空に舞い上がりながらさえずるので、大きな鳥を想像しますが、雀より少し大きいぐらいなのです。色も地味で、何のへんてつもない鳥だけに、かえって、すばらしい鳴き声には、心ひかれます。

はるかな大空から、私たちにエールをおくってくれているようです。

(山下景子「美人の日本語」より)

主催事業報告 3月14日(火) 「季節の和菓子作り」講座

今年の和菓子は「さくら大福」でした。

砂糖、水を加えたもち粉をよく混ぜて、赤の着色料をちょっと加え、電子レンジで加熱。水を少し加えながら適度な硬さにしていきます。



かたくり粉を表面に付けて6等分して、あんをつつんでいきます。指先を水で湿らせたり、かたくり粉を上手にまぶしていないと、手や

指にくっついて難しそうでした。

丸くした大福に、塩抜きしてある桜花を飾って出

来上がり。表面に氷もちをまぶしたり、白あんをつつんだりすることもできます。



今回は調理時間が少し余ったので、講師の先生がもう一度、最初から通して作るまでの行程を見せてくれました。慣れた手つきで作り上げていく様子を見て復習できたことは、参加者の方にも勉強になったのではないかと思います。

アンケートの一部を紹介します。

•ありがとうございました。家でもう一度作ってみようと思います。•和菓子作りは初めてです。家でも作ってみます。•簡単に作れたので家でも作ってみます。•実演だとちょっとしたポイントが分かってよかった。•説明が分かりやすかった。•おさらいして、先生が教えてくださりとても良かったです。参加できて勉強になりました。

マスク着用の見直し

すでにニュース等でご存じのとおり、令和5年3月13日より、マスク着用について考え方が緩和されました。千葉市教育委員会からも、公民館における利用制限に緩和等について通知がありました。「マスクの着用については、重症化リスクの高い人等に感染させない配慮は継続しながら、個人の判断に委ねることを基本とします。」というところが主な趣旨であります。

とはいえ、個人の判断は人それぞれまちまちです。一斉にノーマスクに戻ることはないでしょう。街を歩いている人を見てみても、この一週間では大きな変化は感じません。電車の中やコンビニ・スーパー、人通りの多い場所ではつけますが、それ以外は外す人は増えてきたようです。

一律に着脱を押し付けるのではなく、これからもうマスク着用の意義を意識しながら、一人ひとり



が感染予防に努める事は続いていくのでしょう。公民館の利用にあたっては、引き続き、手洗い、手指の消毒、三密の回避、換気等は念頭に置いていただきますようお願いいたします。

クラブ連絡会代表者会議 3月11日(土)

定期団体数の半数以上の30名ほどの代表にお集まりいただき開催されました。令和5年度、6年度の役員(担当サークル)が抽選の結果、以下のサークルに決まりました。

また、会則の一部を見直し、役員の数の変更についての提案がありました。これにつきましては、令和5年度総会において改めて提案され、審議・改正となっていくものと思われます。

役員となるサークルは、
・元気クラブ ・白彊術クラブ
・かんがる〜さ〜くる ・朗読の会ことだま ちば
・FM サロン・みずぐ会 の六つのサークルです。

現新役員の引継ぎは、4月8日(土)に行われますので、上記六つのサークルの代表者は出席していただきますようお願いいたします。現役員は令和5年度総会(5月20日開催予定)までが任期になります。もうひと踏ん張り、よろしく願います。

新宿公民館の利用がより活発になるよう、また、公民館文化祭の開催に向けて、定期団体の皆様のご協力をお願いします。

千葉県子ども会 書初め展 写生大会 優秀作品展



子ども会に加盟している児童生徒の数多い出品作品の中から優秀賞を受賞した作品をロビーに展示しています。

小学生から高校生までの習字と、小学生と幼児の絵をご鑑賞ください。じっと見ていると、それぞれに丁寧に書いた様子が思い浮かべられ、癒されますよ。



よ。地域の子どもたちへの、確かな文化の継承を味わってみてください。

【今日の公民館】



新宿保育所側入り口脇に、今年も「源平花桃」の樹も、色鮮やかに開花が始まりました。新宿地区絶景お花見スポットに認定です。

季節の日本語

しのめ 東雲 ~夜明けはきつとくる~

日本の夜明けの表情は、とっても豊かです。

まず、^{あかつき}暁。昔は、夜明け直前の、まだ暗いころのことをいいました。

そして、東雲。東の空に、明るさが、わずかに動くころですね。

しだいに、^{あけぼの}明けゆく空は 曙。

やがて、ほのかに明るくなった空を朝ぼらけ。

^{あした}朝で、すっかり夜が明けます。

突然、災害や災難に襲われることがあるかもしれません。真っ暗な闇の中に、突き落とされるような思いをすることもあるかもしれません。

でも信じてください。きっと、東雲の光が差し込む日が来ます。

いつまでこの闇が続くのかとってしまうかもしれませんが、必ず、夜明けは来るのです。

(山下景子「美人の日本語」より)

~ようやく今は、東雲か、曙かな。

本年度も「公民館便り」をお読みいただきありがとうございました。令和4年度は今回の第25号が最終です。不束な点はお許しください。令和5年度も熱い思いをもって発行していく予定です。多少、不定期になるかと思いますがご容赦ください。

来年度もよろしく願います。

(新宿公民館長 迎 浩二)